

芹ヶ谷公園 “芸術の杜 “パークミュージアム” 整備計画説明会 主な発言

日時	2022年5月29日（日） 10:30～13:00
場所	町田市立 国際版画美術館 講堂
町田市 出席者	文化振興課 8名 国際版画美術館 2名 公園緑地課 4名
参加者	83名

参加者	<p>工芸美術館について、雑木林を伐採しない場所へ変更はないのか。工芸美術館のエレベーターは必要がない。版画美術館の一体化としてなぜこの場所なのか。</p> <p>説明会を開いているが、意見を取り入れて変更する意思があるのか。</p>
町田市	<p>芹ヶ谷公園内の建設候補地から、様々なケースを検討した中で中心市街地からのアクセスも加味し、版画美術館北側となった。</p> <p>版画美術館との一体性を意識する中で、公園独特の地形を活かして斜面の中に溶け込ませる形で、公園に来た方が美術館に、美術館に来た方が公園も楽しめるのが相応しい形として現在の計画になった。</p> <p>エレベーターについては、回遊性も含め、公園内を楽しみながら、高低差を解消できるエレベーターを考えたが、自転車利用も可能なエレベーターのご意見を新たにいただく中で、この計画となっている。</p> <p>スケジュールについては、ご説明したものをベースに進めていきたいと考えている。</p>
参加者	<p>工芸美術館の運営費はどれだけかかるのか。</p> <p>版画美術館は、今でも体験講座を行っているが、機能アップ、3Dを使った高度な技術やオンラインを使った企画などは考えているのか。</p>
町田市	<p>版画美術館はこれまで様々なイベントを開催してきたが、新しい美術館のあり方として、アート・出会いの広場を通じて活動を展開していきたい。アート・出会いの広場は、公園と美術館が出会う場所、美術館の作品と出会う場。いろいろな出会いがある場所を想定している。オンラインを使ったイベントなどもこれまで以上にできるのではないかと考えている。ギャラリートークについても気軽に提供していきたい。</p> <p>詳細な運営費の積算はまだ出来ていないが、参考として市立博物館については人件費等を含めない金額ではあるが年間約3,700万である。</p>
参加者	<p>これまで市民の意見を聞く場はどれだけ設けていたか。</p> <p>市立博物館の閉館後、縄文土器の常設展示はどこにあるのか。</p>

町田市	<p>2019年8月に、スタートアップミーティングを開催した。その後、公園でのワークショップや体験企画などでのアンケートを実施、子どもセンターまあちの来館者や、冒険あそび場にきている方にもご協力いただいた。パークミュージアムというコンセプトを策定した際も各市民センター等への資料配架、近隣へのポスティングを実施し、意見を募集した。</p> <p>その後、コンセプト案についての報告会を2019年12月に実施し、設計を進める中では近隣町内会に対しご説明を行いながら進めてきた。</p> <p>工房を利用している方々とも意見交換をさせていただいた。2020年にデザインブックを作成にあたって報告会をさせていただいた。</p> <p>市立博物館の考古資料については教育委員会に移管しており、現在では考古資料室でご覧いただくことができる。</p>
参加者	<p>この整備計画を知ったのは、美術手帖に掲載されたのを見たのが最初である。それまで工房利用者と話し合いをしたわけではない。</p>
参加者	<p>何度かシンポジウムに参加したことがある。(※市注釈 市開催によるものではない) パークミュージアムのコンセプトを成立させるためには、工芸美術館と版画美術館の親和性に尽きる。建てるのであれば、緑との親和性や、エレベーターの整備についてしっかり行っていただきたい。</p>
参加者	<p>この計画で進めるのであれば反対である。市役所跡地や都営住宅跡地であれば、木の伐採をしてまで、作る必要はない。</p> <p>町田街道から公園に入ると醜い収蔵庫が見えるようになる。それがとても違和感がある。公園内に計画しているエレベーターについては、地域住民が要望していた場所ではない。</p>
町田市	<p>公園内に計画するエレベーターの位置については、あくまで考え方を示した案で、確定ではない。中心市街地側から降りてくるにあたって、芹ヶ谷公園の象徴的な場所であり、皆さんがよく目にする彫刻噴水近くに設置するのがよいのではないかという案である。</p> <p>建物の収蔵庫について、原町田側から見た場合に大きなボリュームを出さないように計画している。</p>
参加者	<p>2018年に議会で予算が否決された際、整備費が高いから否決されたと思うが、これからの市民が、どれだけの負担がかかるのか。</p> <p>平地と斜面地で作った場合の維持費の違いがどれくらいになるのか。</p>
町田市	<p>工芸美術館整備費については約28億円を見込んでいる。版画美術館も含めてより良いものにしていこうという所で、アート・出会いの広場整備費については、約3.6億円を見込んでいる。(仮称)公園案内棟/喫茶/工房・アート体験棟整備費については、概算として約8億円を見込んでいる。</p> <p>メンテナンスに関しては、斜面という点でお金がかかる部分もあるが、例えば落ち葉に関しては、溜まらないようにする工夫などをしていく。</p>
参加者	<p>以前議会にて予算の否決がされたのは工芸美術館についてか。</p>

	<p>市民との対話はどういう組織と行っているのか。</p> <p>ホームページで公表とするが、高齢者の方は見られないのでは。これからどのように見てもらおうとするのか。</p>
町田市	<p>以前議会にて予算の否決となったのは、工芸美術館についてである。</p> <p>対話という点については、各町内会にお伺いさせていただいたり、近隣町内会の代表の方々と芹ヶ谷公園で活動されている方を中心とした芹ヶ谷公園文化ゾーンネットワークとお話を継続している。</p> <p>ホームページは、発信する内容をまとめて広く周知するツールとして用いている。他の周知の方法についても検討する。</p>
参加者	<p>工芸美術館について、新たな美術品の購入というものはあるのか。</p> <p>収蔵庫について傾斜地に配置しているので、耐震性、保存の方法はどのように考えているか。版画と工芸品で保存方法は変わってくる。</p>
町田市	<p>収蔵庫の耐震性については、地震に耐えられるように作り、棚も含めて美術品が壊れない作りになることを考えている。</p> <p>版画の収蔵品は版画美術館の収蔵庫を使い、工芸品については工芸美術館の収蔵庫に保管する。資料の購入について、新設に伴って購入は想定していない。</p>
参加者	<p>これまで報告会をしているが、意見がどう生かされているのかわからない。住民と一緒に話し合いをされていない。</p> <p>2019年より前に立ち返って計画をやり直してほしい。専門家、学識経験者などからなる検討会を新たに作ってほしい。</p>
参加者	<p>展示室が小さく感じる。平地で作った方が、面積が大きく建てられる。博物館、美術館は運営費がかかる。</p> <p>木を伐採すると、復帰は難しい。森は縄文時代から考えても1万年以上掛かってできた森である。</p>
町田市	<p>公園は、その場を人が活用して活動する場所でもある。緑は大事で残していくが、緑を完全に残す場所であれば、別の位置づけで特別緑地保全地区という場所もある。</p> <p>木を1本でも切つてはいけないという声をいただくが、公園の維持管理上、一部の伐採については必要なものだと考えている。芹ヶ谷公園の緑は、人が薪や燃料にするために植えた落葉樹林地である。昔から残っている何百年もする樹林地とは種類が異なる点はある。</p>
参加者	<p>パークミュージアム会議はどのメンバーで構成されているのか。</p>
町田市	<p>芹ヶ谷公園に隣接する町内会、またそこで活動されている方々とお話をさせていただいている。パークミュージアム会議が決定機関というわけではなく、地域の方々のご理解をいただくということの一つの指針として話を進めている。</p>
参加者	<p>パークミュージアム会議以外の市民との話し合いを避けている。</p>

町田市	<p>地域の方々と話し合う機関としてパークミュージアム会議があり、広く市民の方の意見も伺う場として、今回のように説明会を開いてご説明をさせていただいている。</p>
参加者	<p>湧水、里山の保全をこれまでやってきた。パークミュージアム会議で、これまで一年半話し合いを続けてきた。一部多少の妥協点は得られた。</p> <p>工芸美術館建築については、知り合いの建築家に話を聞くと平地に建てるより8億円もかかる。メンテナンス費もかかると聞いている。一体化するエレベーターができると谷戸の景観が損なわれる。</p> <p>アート・出会いの広場の整備は、版画美術館に手を加えることになり、調和が損なわれる。移設せず古くても汚くてもいい。プロジェクトについて、ゼロベースで考え直すべきではないかと思う。</p> <p>エレベーター棟の設置は、版画美術館設計者の意図を無視している。</p>
参加者	<p>人と緑、ふれあいの言葉が散りばめられているというだけで、目新しいものがない。ビジョンに町田らしいと書いてあるが、公式的定義は何か。</p> <p>資料の中に、周辺資源を磨きという記載があるが、どういう意味か。もう一度説明会を開催するべきだ。</p>
町田市	<p>周辺資源を磨きという言葉は中心市街地まちづくり計画のプロジェクトのなかで、用いている言葉である。これが最後の説明会ではない。</p>
参加者	<p>今の大きな階段脇の迂回路は残るのか。また、美術館をつなぐエレベーターは、美術館が閉まっているときは通れないのか。</p> <p>エレベーターは災害時、震災時、メンテナンス時に止まる。その時迂回路が出てくるが。道は無くなるのか。</p>
町田市	<p>バリアフリーに関しては、新たに整備するエレベーターで解消をしていく計画である。現在のスロープについては、一部階段にはなるが、下まで降りていくことは可能である。</p>
参加者	<p>無理矢理、版画美術館の隣に持ってきているように感じる。</p> <p>初めて説明会に参加し、反対意見が飛び交っている計画との印象を持った。</p> <p>私個人としては根本から見直すことができないかと思う。作ることは反対ではないので、将来に問題がないようにしてほしい。</p>
参加者	<p>公共施設再編構想の基本方針からずれている。今の版画美術館を壊して、移設するのは、既存資源の有効利用に矛盾する。基本方針に沿っていない。</p> <p>斜面に整備するには、工事の準備に大量のお金が必要になってくる。</p> <p>デザインブックの前のコンセプトブックでは、谷戸の自然に価値があると言っているが、なぜその自然を壊すのか。</p>
参加者	<p>水庭の景色。エレベーター棟も計画を変更しましたとのことだったが、隙間を開けたらからいいというように感じられた。</p> <p>イメージ図は鳥瞰図ではないか。講堂から見た風景、エントランスから見た風景がどうなのかを知りたい。</p>

町田市	<p>講堂から緑がどのように見えるかは、一部見えなくなる場所と、今までと同じように見える部分がある。</p> <p>元々の計画では講堂の目の前までエレベーター棟がある計画だったので、緑が見える計画に変更しているということをご説明した。水庭以外の場所にエレベーターが計画できなかったのかという点は、版画美術館と工芸美術館の一体性という本計画のコンセプトを前提としたなかで、他の位置より現在の計画が望ましいと考えている。</p> <p>見える場所のイメージについては持ち帰って今後お示しできるように考えていきたい。</p>
参加者	<p>エレベーターの件については、水庭に設置しない形のエレベーター棟の対案を示したが、コンセプトに合わないということを理由に却下された。</p>
町田市	<p>今日は、みなさんのご意見を聞く場として、開催をしている。今いただいたご意見をホームページ上に公開する予定である。</p>